



あらかわ区報 Jr.



ArakawaKujo Junior

平成29年 1/18

発行 荒川区●23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111

あらかわりサイクルセンター

- 所在地 南千住3-28-69
- 開館日時 月～土曜日（年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分



平成28年10月10日、南千住に「あらかわりサイクルセンター」がオープンしました。集めた資源を砕き、圧縮し、リサイクルしやすく処理する施設で、見学もできます。今回はあらかわりサイクルセンターの様子を紹介します。

聞く！
見る！
体験できる！
行ってこよう！



▲左から汐入小学校6年の牧野結衣さん、福井瑠奈さん、李世賢さん、鈴木船之介くん、中道權成くん、松崎莉空くん



はかせ

区は集団回収が進んでおり、その1人当たりの資源回収量が、12年連続23区でトップなのは知っておるかな。みんなが集めた資源をより安定して処理できるよう新しくできた施設が「あらかわりサイクルセンター」じゃ。集めた資源を分別して、細かく砕き、圧縮するという中間処理を行う所なんじゃよ。この施設では、処理工程を見学できるようになっていて、ごみの処理や資源のリサイクルに関する資料も展示しておるぞ。さらに、資源を利用した工房も行っていて、楽しく学ぶこともできるぞ。

※処理エリアには、通常は入れません。今回は、特別に許可を得て撮影しました。

問合せ 清掃リサイクル課 内線☎470



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は3月に発行する予定です



学校訪問

部活動

学校自慢



荒川リバーサイドマラソン

第七中学校

西尾久4-30-28

生徒が部活動を紹介し
ボランティア部

校外での活動は、主に地域の行事が行われる週末や祝日です。春に行われる川の手まつりや秋の尾久つ子ワクワクまつり、尾久つ子ランキング、荒川リバーサイドマラソンのお手伝いにも、毎年参加しています。

今年度は、荒川区社会福祉協議会から声をかけていただき、荒川遊園地で熊本地震支援活動を行いました。ボランティアとは、人々の思いやりや支え合う心に触れることで自分たちが成長できる場だと考えています。

執筆 2年 部長 秋山桃葉

第四峡田小学校

町屋2-11-6

学校の自慢を児童が
紹介します



▲量がおおむらぶック ▲芝生で踊る四峡ソーラン

私たちが四峡小に6年間いる中で自慢できると思うことを3つ紹介します。

1つ目は、行事がたくさんあり楽しいことです。私たちが、その中でも好きなのは、運動会や、展覧会などの行事とキッズパラダイスです。行事ではどの学年も、協力してがんばっています。自分たちでよりよいものにしようと思えば、作り上げていくのが好きです。キッズパラダイスは、各クラスで工夫してお店を開く行事です。「お化け屋敷」や「ボーリング」など、どれも工夫があつて楽しいです。

2つ目は、環境のよさです。校庭が全面芝生で、転んでも大きなけがにはなりません。運動会でソーラン節を踊るときにはだしになっても気持ちがいいです。本がたくさんある環境も自慢です。ブックホールというスペースに絵本もたくさんあります。畳が敷かれていて、先日張り替えたときはとてもよい香りでした。

3つ目は、給食がおいしいところです。四峡小の給食はレパートリーがたくさんあり、どれもおいしいです。私たちはあと少しで卒業します。四峡小出身だと胸を張って言えるよう、これから全力で何事にも取り組み日々生活していきます。

執筆 6年 小山遥輝 金本紗来 越戸芳美 田中ひかる



熊本地震支援募金活動

熊本地震支援募金活動にも参加しました。来園者の皆さんには、避難所で暮らす方への応援メッセージを書いていただき、温かい心に触れることができました。

執筆 2年 部長 秋山桃葉

マレーシア・ペナンから小学生が荒川区にやってきました!

11月25日~27日、マレーシア国立小学校の児童17人が訪日。原中学校と尾久西小学校の生徒・児童と交流を行いました。原中では、タブレットを活用した英語の授業や、給食を食べながら話をしたりと、みんな積極的に交流を楽しみました。

滞在期間中の宿泊は、原中生徒の自宅にホームステイ。マレーシアの子どもたちは日本の文化にとまどいながらも、各家庭の温かい「おもてなし」の心を感じてくれた様子でした。

授業ではグループに分かれて英語でディスカッション



▲給食を食べながら英語で交流 ▲尾久西小でのセレモニー

中学生俳句の発表会が行われました

12月10日の「あらかわ句会」で、中学生対象の俳句イベント(俳句ハイク・英語俳句教室)で詠まれた作品を対象に、優秀作品の発表会が行われました。

全116句中、7句が特選、16句が入選。選者の現代俳句協会・対馬康子先生、田中亜美先生から俳句を詠んだ中学生へ賞品が授与されました。特選・入選作品は荒川区ホームページに掲載しています。



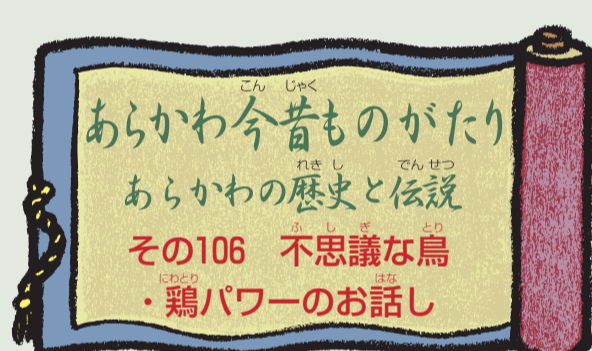
▲英語俳句教室の様子 ▲発表会の様子

今年にはトリ年。年賀状のデザインには色々な種類の鳥が登場するよね。何と言っても多いのは鶏だろう。何々、鶏と聞くとお弁当のおかずの卵焼きやから揚げを思い出すって? そうだね、鶏って料理の材料というイメージが強いよね。

庭には二羽鶏がいて 昔は、あらかわにも鶏を飼っていた家がたくさんあつた。鶏は、あらかわにも鶏を飼っていた家がたくさんあつた。

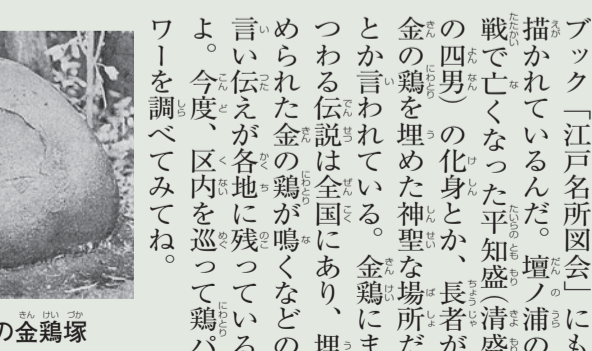
鶏パワー① 朝を招く! 昔の人は、鶏を神聖な動物としてお祀りすることがあった。街角や社寺の境内に置かれていた庚申塔には怖い顔をしたご本尊の青面金剛の他に、「見ざる・言わざる・聞かざる」の3匹の猿、雄鶏と雌鶏なんかが刻まれている。猿は「不幸が去る、困難が去る、病が去る、災いが去る」等の「去る」という言葉に掛けて、厄除けに御利益があるとも言われている。一方、鶏には夜の闇を払う不思議な力があり、夜明けをもたらす鳥だと信じられてきたんだって。

鶏パワー② 行方不明捜査! それに鶏には、警察犬顔負けのすごい能力があるんだ。テレビのニュースで時々警察官が行方不明者を捜索している様子を放映している。ゴムボートに乗り、長い竿で水中を懸命に探っているね。そういう時、昔の人は板に雄鶏を乗せて川に浮かべたんだって。板はやがて身元不明者が沈んでいる所の上に着し必ず「コケッココ」と鳴いたそうだよ。不思議だね。鶏には、神聖な天界と交信できる力があるから可能なんだと信じられていたんだよ。



たんた。どんな家かって? それは農家だ。江戸時代から大正時代くらいまでは区内にも田畑があり、農家では作物を作り、庭で鶏等の家畜を飼っていたんだ。鶏ってとても身近な鳥だったんだね。

鶏パワー③ 金の鶏! 南千住三丁目の石浜神社境内には、いろんな石造物がある。その中の一つに「金鶏塚」というコロんとしたお握り形の石がある。表面の一部が剥がれているけれど、どうやら鳥の姿が刻まれている。この石は、江戸時代のガイド



▲石浜神社の金鶏塚